

(参考) QRコードを用いた個体識別について

鶏改良推進中央協議会資料から抜粋

令和3年10月29日

(独)家畜改良センター 兵庫牧場

3-1. QRコードを用いた個体管理システム

家系（血統）情報の把握と、体重や産卵率等の個体データを収集し、改良に利用するため、兵庫牧場で飼養する全ての鶏には、個体番号が割り振られている。

翼帯による管理

- ・ 個体番号はふ化時にヒナに割り振られる。
- ・ 個体番号が刻印されたアルミ製のバンド（翼帯）をふ化直後のヒナ（初生ひな）の脚に巻き付ける。
- ・ 6日齢で脚に巻いた翼帯を外し、翼膜へ付け替える。

翼帯



母家系ごとに区分されてふ化したヒナ



ヒナの右脚に翼帯装着



脚から外して翼膜へ着け替え
(6日齢)

3-2. QRコードを用いた個体管理システム

翼帯の代わりにQRコードラベルを装着し、機器を使って個体番号を読み取ることにより、人為的ミス発生の防止と、作業の労力軽減・効率化を図る。



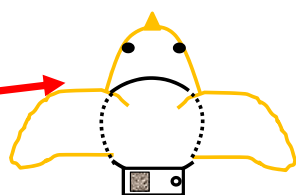
QRコードラベル

QRコードラベルによる管理

QRコードラベルは、ヒナの翼膜にプラスチックタグ（留め具）を使って装着するが、ふ化直後のヒナの翼膜は小さく、装着が困難。そのため、QRコードラベルに輪ゴムをホッチキス止めし、輪ゴムをヒナに背負わせるようにして仮装着し、翼膜がある程度大きくなってから着け替える。



輪ゴムをホッチキス留めたラベル



輪ゴムを背負わせるようにして仮装着

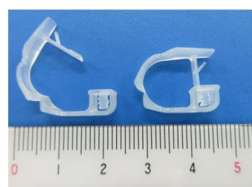


3

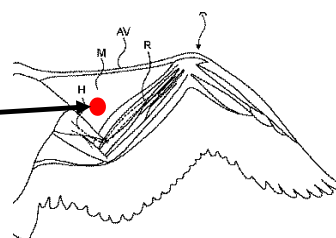
3-3. QRコードを用いた個体管理システム

翼膜への着け替え

6日齢でヒナに背負わせたQRコードラベルを外し、輪ゴムを取り除いてからプラスチックタグ（留め具）で翼膜へ装着。



プラスチックタグ（留め具）



QRコードラベルを、プラスチックタグに取り付けて翼膜に留める。



ラベルが表に出ていると他の鶏につつかれるため、内側に装着。

4

3-4. QRコードを用いた個体管理システム

個体体重測定



	A	E	C	E	F	G	H
1	※赤になったら番号再確認！						
2	※部屋が変わる時は「閉じる前」をクリック						
3	※ノーマンは個体番号「0」						
4	1,2室	1330♀	性: 2	閉じる前に クリック			
5	NB	2	廃用	9			
6	ここまでの平均体重			706.3	↓性別確認！		
7	個体番号	体重	欠格No	欠格事項	性	系統	
91	10135	489			2	1330	
92	9716	545			2	1330	
93	9939	568			2	1330	
94	10011	570			2	1330	
95	10010	524			2	1330	
96	9904	636			2	1330	
97	9944	560			2	1330	
98	10099	539			2	1330	

体測用エクセルファイル
(タブレットにデータ保存)

- ①個体番号読み取り
- ②個体番号自動保存
- ③体重計に鶏を乗せる
- ④体重データが自動保存

- ・ハンディーターミナルで個体番号のQRコードを読み取ると、無線通信でタブレットのデータベースに個体番号・体重データが自動入力。